

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

漢方製剤

ほう
峰

じゅ
寿

がん
丸

「峰寿丸」は、西暦200年頃に、中国で編集された漢方医学書「金匱要略」に収載されている漢方処方八味地黄丸を基本に生薬粉末を蜂蜜にて丸剤としたものです。

峰寿丸は、主として中年以降で次のような場合に用いられる処方です。

- ・のどが渇き、小便が近くなって夜間たびたび小便の為起きる。また、小便の出が悪く、残尿感のある人。
- ・老人で、皮膚がかさかさして、うるおいがなく、時々かゆみがある場合。
- ・からだの疲れがひどく、だるくて足が冷えたりだるかったり、足の裏がはてったりする人で、下痢や嘔吐などがない場合。

⚠使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
次の人は服用しないこと

- (1) 胃腸の弱い人。
- (2) 下痢しやすい人。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人。
- (4) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、腹痛
その他	のぼせ、どうき

- (2) 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
下痢

《効能又は効果》

疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で時に口渴がある次の諸症

下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

《用法及び用量》

次の量を1日3回食前又は食間に、水又は白湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
成 人 (15歳以上)	7 丸	3 回
15歳未満	服用しないこと	

《用法・用量に関する注意》

用法・用量を厳守してください。

《成分及び分量》

峰寿丸の1日量(21丸)中に含まれる成分及び分量は以下のとおりです。

ジオウ896mg ブクリョウ336mg

サンシュユ448mg ボタンビ336mg

サンヤク448mg ケイヒ112mg

タクシャ336mg ブシ末112mg

添加物として、寒梅粉、コムギ、コメ、ハチミツ、白色セラックを含有する。

《保管及び取扱い上の注意》

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 本剤は蜂蜜を用いて丸剤としていますので、丸剤どうしがくっつくことがあります。くっついた場合には、容器の底を軽くたたいていただければ離れます。
- (5) 使用期限の過ぎた製品は、服用しないでください。

本製品についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

大峰堂薬品工業株式会社 「消費者相談窓口」

〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿574

電話 (0745) 22-3601(代)

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **大峰堂薬品工業株式会社**

奈良県大和高田市根成柿574